

# For

*Our Policy is*

*" For the Society , For the Patient , For Myself "*



Photo by H.Kimura

## C O N T E N T S

- 映画紹介 『黄金花』……………1・2
- 病気について 『薬物依存症について』……………3・4
- 特集 『高齢者の食事について』……………5・6
- 記念特集 『50周年記念式典・祝賀会』……………7
- 記念特集 『医療法人財団青仁会50年のあゆみ』……………8
- トピックス 『発達障害について』……………9
- おすすめの一冊 『つるちゃんとかめこ』……………10
- 花言葉 『山茶花』……………10



## Story

老人ホーム「浴陽荘」。そこには植物学者の牧草太郎博士はじめ、物理学者、役者、自称映画女優、バーのママ、板前、質屋、など、多くの孤独な老人が身を寄せている。老人達は人生を邂逅し、尽きぬ想いと死への恐れに打ち震えながら、それぞれが作り上げた物語の登場人物を演じることで嘘とも本当ともつかぬ奇妙で不思議な日々を送っていた。

牧博士は人生の大半を植物学の研究に費やし、遊びも、酒も、女も、俗世間の全てを顧みずに生きてきた。そうして迎えた80歳の誕生日、職員の青年と自然薯を掘りに出かける。



その折、青年がついた些細な嘘によって小さな泉に辿り着き、黄金色に光り輝く妖しい花を見てしまう。それは、牧博士が長年探し求めていたヒマラヤ聖女の傍らに咲くという不老不死の花「黄金花」であった。

その日を境に、植物学に没頭するために、あえて封印したはずの青年時代の記憶の断片が、大きな渦となって押し寄せてくる。

留学生ユリアーナへの切ない想いと永遠の別れ、戦後の混乱、植物学への熱情と挫折、混沌と夢幻のなか、易者老人の死に立ち会い、牧老人はその夜誘われるように時の川を遡り人生の最期の旅に出る。

浴陽荘で牧博士の植物学に憧れを抱く青年ミツオとヒマラヤの聖地に咲くという「黄金花」をめぐるのささやかな触れ合い、介護士長への密やかな想い、道化師のような老人たちとの生活。そして、新しい命の誕生。



虚と実、夢と現実、日常と非日常、生と死、相反するすべてのものを包み込み、傷つき苦しみながらも、生きることへの限りない想いが浮き彫りになってくる…植物学者・牧博士の時空を超えた魂の物語＝ファンタジー。

○サブタイトルの「秘すれば花」は、秘めたものを想像させるところに表現の神髄があるという意。

—能楽師 世阿弥の「花姿花伝」より—

○タイトルの「黄金花」は、ヒマラヤの奥地に咲く不老不死の幻の花とされる。

## おすすめコメント

この作品は、木村武雄監督(91歳)の奥様が認知症を患い、老人ホームへ入居したことをきっかけに、「老夫婦の有様をドキュメンタリータッチで映像に収めれば、間違いのないものができるだろうが、気が進まない…」『自分も、いつボケてしまうかもしれない…』という暗い気持ちになってしまった為、もっと「晴れやかに、おもしろ、おかしく、老人同士をえがいてみたい」、という思いから出来た作品です。

人の「古い」と「死」というテーマを、人間の弱さやさみしさをもってして、美しくも、面白く描かれ、非常に考えさせられる作品となっておりますので、繰り返し鑑賞するのもおすすめです！

(文:青南病院 夏堀陽子)

この映画は、**11月21日(土)シネマト新宿、銀座シネパストにて公開**。青森県での上映は、今のところ予定されておきませんが、今後劇場公開・DVDレンタルにより機会があると思いますので、是非ご鑑賞ください。

監督:木村 威夫  
出演:原田芳雄、松坂慶子、長門裕之ほか

# 薬物依存症



## 薬物って？

摂取することによって気分が変化し、依存をもたらす物質のことを薬物と言います。覚せい剤や麻薬などの非合法薬物、シンナー、トルエン、鎮咳薬などの市販薬、睡眠薬・抗不安薬のような処方薬も含ま

れます。「乱用する」という事は、物質を一般的な、あるいは決められた用量や用法から外れて過剰に摂取すること、本来の目的から逸脱して不正に摂取することを言います。

## ◎どんな病気？

病気の特徴として、薬物を繰り返し摂取する事により効果が減る為、以前と同じ効果を得るために、より多くの摂取が必要となる耐性が形成されます。また、摂取を減らしたり、急にやめたときに出現する不快な身体や精神症状が出現する、離脱症状がみられます。

薬物依存の患者は、100万人程度とされています。

**一度依存症に陥ったら一生涯の断薬が必要です!!**  
減薬では悪循環を断ち切る事はできません。

## ◎なぜ薬物依存になるの？

薬物そのものが快楽物質として脳の中で働いたり、もともと体の中にある快楽物質(ドーパミンなど)を作り出して快感が生じるため報酬効果(陶酔感や身体的・精神的ストレスを和らげる快感)が得られます。これらが条件付けの刺激となって常習化する為に依存症になりやすいです。

そしてこれらの結果、自分の力では、薬物を摂取したいという欲求を抑える事が難しくなり、強迫的な摂取も繰り返し起こるため、耐性が強化され依存症となる悪循環に陥ります。



## ◎どんな病気？

大きく分けて、身体症状、精神症状、社会症状の3つがあります。

### 身体症状

頭痛、めまい、呂律がまわらない、手足や全身が震える、胃腸、肝臓、腎臓などの内臓障害も起こります。



### 精神症状

イライラ、怒りっぽい、じっとしてられない、物忘れ、虫が見えるなど幻視などみられます。

幻視…



### 社会症状

家庭や地域での暴言、暴力、迷惑行為がみられ、職場ではトラブル、欠勤などみられます。薬物を買おうとするなど犯罪に手を染めることもあります。



## 薬物依存症の進み方

### 薬物の使用

ファッション感覚で手を出す人が多い

### 快感を得る

「まだ大丈夫…」と  
思っている場合が多い

### 繰り返し使用

### 耐性ができる

薬が切れると虚脱感、倦怠感が出現

### 離脱症状が現われる

上記症状から逃れようと繰り返し乱用

### やめられなくなる

犯罪を犯しても手に入れようとする

**心身の障害、  
家庭崩壊、  
社会的信用を失う**

## 治療は？

### 外来治療

依存の状態や離脱症状が軽く家族などの支援体制が確立している場合は、外来で治療を行うことが可能です。断薬の必要性を納得し、行動を起こすよう個人精神療法が行われます。

### 入院治療

依存の状態がひどい、離脱症状が強い、全身状態が悪いなどの場合であれば、入院治療が必要となります。離脱症状が治まれば集団精神療法などを行うこともあります。

### 薬物療法

不安、焦燥、不眠などを軽減するために抗不安薬、不穏、興奮、幻覚などが著しく離脱症状が強い場合は、抗精神病薬が投与されることもあります。

### 集団療法、自助グループへの参加

同じ仲間と苦悩や治療成果を共有する集団療法や自助グループ、社会復帰施設でのメニューに参加する。

## 周囲の人ができること

### ★薬物依存症の正しい理解をしましょう

「意志が弱いから」とか不遇な家庭や社会問題が原因なのではありません。まずは本人や周囲の人が理解する事が必要です。

### ★治療が必要な病気です

依存症の治療は、気合や根性では不可能な病気です。正しい知識を持ち、薬物療法や精神療法などが必要であると理解することが大切です。

### ★見捨てないで下さい

治療が長期間になったり、治療がうまくいっても再度依存症になったりする場合もあります。その時に見捨てられると、また同じ依存の悪循環に陥る事になります。職場の同僚や友人達にも断薬を勧めてもらい、その場に誘われないよう心がけてもらいましょう。

# 高齢者の食事について

## 高齢者の食事

高齢者になると吸収した栄養素を処理したり、利用する生理機能が成人期に比べて低下してきます。

老化は加齢に伴い起こってくる生理的变化であり、それ自体は病気ではありません。

しかし、腹筋の筋力が低下して排便が十分に行われなかったり、胃液の分泌が低下し消化・吸収が十分行われなため下痢になりやすくなります。



## こんな機能低下が…

- 味覚と嗅覚がおとろえて、味の**識別能力**が低下。
- 歯が抜け落ちて噛む力が弱くなるなど**摂食機能**が低下。
- のどの**渇きに対する感覚**がにぶくなる。結果、脱水症状になりやすい。
- 唾液の分泌量が減るなど**消化吸収能力**が低下。

## 高齢者の7つの食生活指針

- ①低栄養に気をつけよう…体重低下は黄信号
- ②調理の工夫で多様な食生活を…何でも食べよう、だが食べ過ぎに気をつけて
- ③副食から食べよう…年をとったらおかずが大切
- ④食生活をリズムにのせよう…食事はゆっくり欠かさずに
- ⑤よく体を動かそう…空腹感は最高の味付け
- ⑥食生活の知恵を身につけよう…食生活の知恵は若さと健康作りの羅針盤
- ⑦おいしい、楽しく、食事をとろう…豊かな心が育む、穏やかな高齢期



老歯が抜けて、食べ物がうまく噛めない、飲み物がうまく飲み込めずムセ込む…

## 「噛めない」「飲み込めない」の対策

食欲の低下・水分量の低下から脱水症状を引き起こすことがあります。また、うまく水分が飲み込めない事により誤嚥性肺炎を引き起こしてしまうこともあります。



- 材料を口に入りやすい大きさに切る  
→繊維に直角に切ると噛みやすくなります
- いつもより火を通す時間を長めにする  
→やわらかく仕上げるだけで、だいぶ食べやすくなります

あまり小さく切り刻んでしまうと、よけいパサパサした感じになってしまいます。また、歯と歯茎の間に食べ物が挟まってしまいますので、注意して下さい。



「ごはん・味噌汁・漬け物」だけのあっさりした食事ばかり…

## 「嗜好が偏っている」「栄養不足」の対策

あっさりした食事ばかり摂っていると、たんぱく質やエネルギーが不足し低栄養状態を引き起こします。

低栄養状態になると、抵抗力が弱まる為、風邪など感染症にかかりやすくなったり、寝ている間に褥瘡(床ずれ)ができてしまったりします。



間食でエネルギーやたんぱく質を増やす。

- プリンやヨーグルトなど  
→80~100キロカロリー  
たんぱく質は3~5gは確保できます
- アイスクリームやパナコッタ、ババロアなど  
→食べやすく乳製品を使用しているので栄養量も確保できます

### ◆ワンポイント◆

おやつを午前、午後の2回にすると、さらに栄養量が確保できます。



# 50周年 記念式典・祝賀会

医療法人青仁会創立50周年記念式典・祝賀会を11月3日、八戸プラザホテルにて開催致しました。

当日は、全国・市内外近隣を含めて、約160名のご来賓の方々にご出席頂きました。

記念式典に際して、当法人理事長千葉潜(ひそむ)より、いままで法人運営に尽力して頂いた方々や各関係機関への日頃の恩顧と謝意が表されました。また、記念事業として、県内地域において活動している5つの福祉団体への寄付金の授与が行われました。



県内福祉団体代表への寄付目録の授与。



全国、市内外より約160名に及ぶご来賓の方々にご出席頂きました。

式典では、八戸地方で初となる精神病院「青南病院」の創設から現在までの50年の歴史が映像にて振り返られており、千葉元(はじめ)初代院長の私立青南病院設立から千葉潜現理事長就任、そして介護老人保健施設施設やグループホームなどの施設増設までと、常に患者のことを考えて世の中の変遷を辿ってきた法人の歴史が映し出されていました。

今後の法人のあり方について、千葉潜理事長は「砂丘の足跡」という先代院長の言葉から、「現在は砂塵の嵐で何も見えず、振り向けば歩んだ足跡は風に吹かれて跡形もなく消えている。それでも前に歩むように進み続け、力尽きて倒れるときは前のめりに倒れたい。」との原点に基づいた法人運営への力強い決意とともに、「真に地域社会に存在する意味のある法人を目指して頑張りたい」という法人の飛躍を誓う言葉で、法人創立50年目の節目を締めくくりました。

50年という節目を迎え、職員一同も新たな決意を胸に日々精進をしていきます。



これからの青仁会のさらなる飛躍を誓う  
千葉潜理事長。

## 医療法人財団青仁会 50年のあゆみ

青南病院は、昭和34年11月3日八戸市田面木赤坂の地に開院致しました。当時はまだ八戸に精神病院がなく、地元民のためにと精神病院を開業しましたが、経営が軌道に乗るまで、幾度も困難に打ち当たりました。先代の院長夫妻は、徹底的なコスト削減を実現するために、今は懐かしい小型オート三輪車「ミゼット」で早朝から市場へ出かけ、時期の安くておいしいものを、患者さんの食糧として調達していました。



幻覚、妄想、無為自閉といった病気特有の状態にある統合失調症患者さんに、規則正しい生活だけではなく、開放的な環境で没頭できるものに取り組みよう、陶芸作品や演劇・舞踏療法を初めとした芸術療法を導入しました。これは精神科リハビリテーションの、草分け的な取り組みでした。当時は誰もが未経験者で、失敗と発見の繰り返しでしたが、先代院長は「作品は患者さんのひたむきな社会復帰の願いを込めた宝石にも勝る努力の結晶である」と信じておりました。患者さんも、作品を創り出すことに急激に関心を持ち始め、次々と新しい独創的な作品が完成していきました。



開院から7年後、八戸市美保野の地に作業療法用農園「迦楼羅山荘」が開設されました。院長、看護婦、患者さんが、皆で道具を持って森を開拓し、田畑を作り、家畜を育てました。

迦楼羅山荘開設から5年後には、八戸市金浜の海岸沿いに2階建ての「白い巻貝の砦」が造られました。2階の窓からは、太平洋が一望でき、とてもすばらしい眺めでした。ここにも、院内と同様に、患者さんの美術品がたくさん展示されていました。ユニークな取り組みをする病院となったのは、先代院長が個性的なキャラクターであったという理由だけではなく、その時代の地域社会や精神科病院の置かれていた環境からの影響もありました。



**「ただ存在するだけの精神病院ではなく、  
存在する意義のある病院となる」**

先代から受け継いだこの言葉を胸に、現院長は組織を支える専門職の育成、日本の精神科医療の底上げをも視野に入れた病院改革を実行しました。治療システムを構築するため、昭和62年を皮切りに、15年の歳月を経て、施設の整備・建築・改築を行ない、患者さんひとりひとりにあった治療環境が提供できるようになりました。

現在は、この法人をいつも温かく見守って下さる地域の皆様のご理解とご協力の下、患者さんが安心して地域社会へ進める体制となりました。

# 『発達障害』～正しい理解と対応を～

## 発達障害はこんな特徴があります！

### 注意欠陥多動性障害

仕事の予定や書類を忘れがちです。周りの人には、「何回言っても忘れる人」と言われてしまいます。

気配り名人で、困っている人がいれば誰よりも早く気付いて手助けすることが出来ます。

AD/HD



### 学習障害

会議で大事な事をメモしますが、書く事に必死になりすぎて、会議の内容がわからなくなります。

苦手な事を少しでも出来るように、ボイスレコーダーを使用する等の工夫をすると良いでしょう。

LD



### 自閉症

仕急な事や初めての事は不安になり動けなくなります。

そんな時、周りの人が対応すると余計に不安がり、突然大声を出してしまいます。

よく知っている場所では一生懸命、活動に取り組む事が出来ます。



### アスペルガー症候群

自分の事ばかり話して、止まらない事があります。周りから「自分勝手にわがままな子」と言われます。

大好きな事だと、専門家顔負けの知識を持っていて、友達に感心されます。



- 発達障害は何らかの**脳の機能障害**と考えられています。
- 本人の性格や親の育て方**によって、発達障害になるわけではありません。

## おすすめの一冊

### 「つるちゃんとかめこ」

重い認知症の母と彼女を  
ケアする家族との、愛情あふれる  
暮らしぶりを綴った注目ブログを書籍化



著者/くろだかめこ  
出版社/文芸社  
発行年月/2008年12月1日

#### 【内容】

認知症となって12年、要介護5の母「つるちゃん」に娘の「かめこ」が愛と工夫に満ちたケアをする日々が綴られています。しかし、この本の内容は「要介護5の認知症となった母親の介護記録」に留まりません。著者自身、乳がんを患った経験があり、女性の生き方、家族のあり方、人間の尊厳など、色々なテーマを含んでいます。

#### 【所感】

本を手にとると、絵本やマンガのように親しみやすい装丁で、本を開くと、読みやすい大きめな字、そして読みやすい口語体の文章で綴られています。つるちゃんが時折見せてくれる、かめこを気遣うように眼差し、ふとした瞬間にかけられた言葉。日常の介護の中では流してしまいがちな瞬間を、いとおいしい時間として大切に捉えていることが伝わってくる一冊です。

介護とは、その人の生き方を感じられる、クリエイティブなものだと再認識しました。

## 花ことば

- 名前由来■ 椿の漢名「山茶花(サンサカ)」の読み間違いから、さざんかと呼ばれるようになった。
- 花言葉■ 困難に打ち勝つ・ひたむきさ・謙譲・ひたむきな愛・愛嬌・思いやり・譲る心・敬愛

## 山茶花(さざんか)

開花時期：10月～12月頃

秋の終わりから、冬にかけての寒い時期に、花を咲かせます。

原産地：日本

野生の花の色は、部分的に淡い桃色を交えた白であるのに対し、植栽される園芸品種の花の色は赤から白まで様々です。童謡「たきび」(作詞:巽聖歌、作曲:渡辺茂)の歌詞に登場することでもよく知られています。



## 私達の理念

### みんなのために

すべての人達に、分け隔てない最善の医療を提供するよう努め、  
社会のニーズに応じて、自分達の出来る事を、実直に行っていきます。

### あなたのために

利用者本位を基盤とした、こころ暖かな医療環境と  
安心して受けられる安全な医療の提供に努めます。

### わたしのために

自分達の仕事に誇りと責任を持ち、  
自らに満足のいく仕事内容であるよう専心いたします。

## [ 診療・ご利用案内 ]

精神科・神経科・内科・心療内科 **青南病院** ☎0178-27-2016  
●受付時間 8:30~11:30 午後は予約診療となります。土曜日午後・日曜日休診  
**医療機能評価認定病院です。**

通所リハビリテーションセンター **青陽館** ☎0178-27-2016  
●様々な社会復帰に向けたプログラムを用意しています。

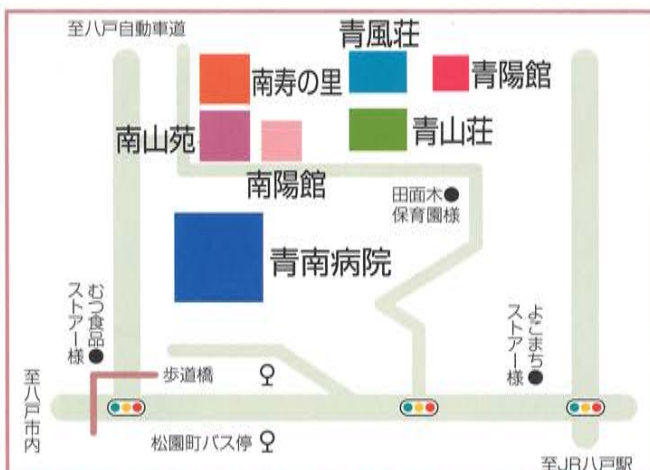
介護老人保健施設 **南山苑** ☎0178-27-3027  
在宅介護支援センター ☎0178-46-5222  
高齢者通所リハビリテーション施設 **南陽館** ☎0178-27-3009  
●入所及びショートステイ、デイケアなどお気軽にご相談ください。

認知症対応型共同生活介護  
(グループホーム) **南寿の里** ☎0178-27-3027  
●家庭的な雰囲気を提供いたします。気軽にご相談下さい。

精神障害者生活訓練施設 **青山荘** ☎0178-27-6638  
●自立・社会復帰・社会参加のお手伝いをいたします。

精神障害者福祉ホーム **青風荘** ☎0178-27-7658  
●入院の必要性はなく、住居の問題や多少の身辺自立に問題ある  
精神障害者が対象になります。お気軽にご相談ください。

訪問看護ステーション **五福** ☎0178-41-1622  
●営業時間 月~金曜日 8:30~17:30  
営業日・営業時間外の訪問についてもご相談に応じます。24時間体制で看護相談に応じます。



《交通アクセス》東北本線八戸駅よりバス約6分、八戸ICより車約1分

当法人では意欲のある人材を募集しています。



Photo by M.Yoshida

発行者/医療法人青仁会  
千葉 潜

発行日/平成21年12月25日  
年2回発行